

中高一貫教育の制度と本県の状況

1 中高一貫教育の制度

(1) 目的

- ・従来の中学校・高校の制度に加えて、生徒が6年間の一貫した教育課程や学習環境の下で学ぶ機会を選択できるようにする。
- ・中等教育の一層の多様化を推進し、生徒一人一人の個性をより重視した教育の実現を目指す。

(2) 種類

ア 中等教育学校

- ・一つの学校として一体的に中高一貫教育を行う。
- ・県内には当該学校は設置していない。

イ 併設型の高等学校・中学校(高志高校)

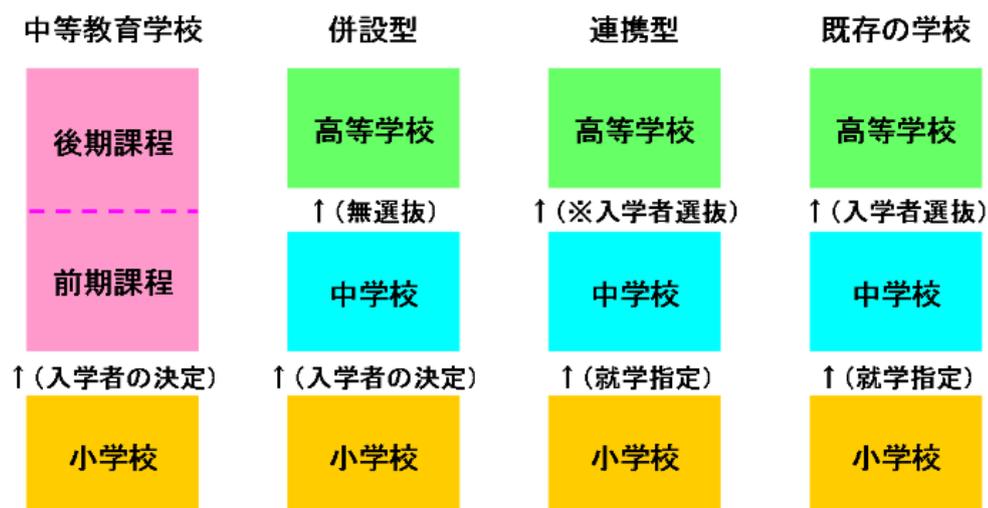
設置者が同じ

- ・高校の入学者選抜を行わずに、同一の設置者による中学校と高校を接続する。
- ・高校の指導内容の一部を中学校へ移行することが可能。この場合、高校で再履修しないことが可能

ウ 連携型の高等学校・中学校(金津高校、丹生高校、美方高校)

設置者が異なる

- ・中学校と高校が、教育課程の編成や教員・生徒間交流等の連携を行う。



※調査書及び学力検査の成績以外の資料により行うことが可能

(文部科学省 HP 抜粋)

2 中高一貫教育校の特例

		中等教育学校 併設型	連携型
中学校段階	選択教科による必修教科の代替え	必修教科の授業時数を年間70単位時間内で減じ、当該必修科目の内容を代替することができる内容の選択教科の授業時数に充てることができる	
	指導内容の移行	①中学校と高校の指導内容の入れ替え	/
②中学校から高校へ指導内容の移行			
高校段階	③高校から中学校への指導内容の移行 ※この場合、高校で再履修しないことが可能		
	④中学校段階内の学年間において指導内容の一部を移行		
	普通科における「学校設定科目」「学校設定教科」	36単位まで	

連携型：6年間の計画的かつ継続的な教育を施し、生徒の個性の伸長、体験学習の充実を図るための特色ある教育課程の編成

3 福井県の中高一貫教育

(1) 併設型中高一貫教育校の概要

高校入学者選抜を行わずに6年間の中高一貫教育を実施する。

(令和3年度 () 高志中学校からの内進生の在籍数)

学校名	1年	2年	3年	連携の内容
高志高校	248(87)	247(87)	239(81)	高校3年生は混合クラス
高志中学校	90	90	90	

(2) 連携型中高一貫教育校の概要

中学3年生への進級段階で連携クラスの生徒を選考(福井型)し、簡便な選抜により高校に進学させる。

(令和3年度 () 連携クラスの生徒数)

学校名	1年	2年	3年	連携の内容
金津高校	218(45)	209(33)	217(39)	連携生徒のみの2クラス
芦原中学校	60	85	78(19)	3年から連携生徒の単独学級を編成
金津中学校	135	124	124(25)	
丹生高校	107(26)	105(17)	121(24)	連携生徒のみの1クラス
朝日中学校	102	83	101(8)	3年から連携生徒が集まって 数学と英語の講座を編成
宮崎中学校	36	24	33(0)	
越前中学校	31	26	30(2)	
織田中学校	35	36	38(6)	
美方高校	72(26)	94(18)	92(25)	連携クラスなし
美浜中学校	68	61	69(22)	美浜・三方中学校は3年から連携生徒 が集まって数学と英語の講座を編成
三方中学校	58	67	62(23)	
上中中学校	80	63	69(0)	